

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 8 年 7 月 24 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 8 年 8 月 25 日（火）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

静岡県東部・伊豆地区インバウンド施策

～三島駅インバウンド誘客検討会を契機として～・・・・・・・・・・1
(東部地域局)

◎令和8年7月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

令和8年度 地域の魅力発掘プロジェクト～下田市編～・・・・・・・・・・16
(賀茂地域局)

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡大学東部サテライト「伊豆歴史文化大学」講座

『伊豆の大地とアート』オンライン視聴会・・・・・・・・・・18
(賀茂地域局)

静岡県庁1DAYインターンシップ in 賀茂 開催します！・・・・・・・・・・20
(賀茂地域局)

ふじミュー 伊豆サテライトミュージアム 2026

～第2弾は『魚』です！～・・・・・・・・・・22
(賀茂地域局)

第4弾 賀茂地域広報PRグッズ、付箋を作りました！・・・・・・・・・・24
(賀茂地域局)

8月の防災講座・・・・・・・・・・25
(賀茂地域局)

水難事故防止キャンペーンの実施について・・・・・・・・・・26
(賀茂地域局)

令和8年度牛乳・乳製品料理講習会の開催・・・・・・・・・・27
(賀茂健康福祉センター)

GAPに関する研修会の開催・・・・・・・・・・28
(賀茂農林事務所)

下田高校南伊豆分校の生徒が建設現場を見学します！・・・・・・・・・・29
(下田土木事務所)

【道路パト車に乗ってみよう】道路ふれあい月間イベントの実施・・・・・・・・・・30
(下田土木事務所)

第5回那賀川水系流域委員会を開催します・・・・・・・・・・31
(下田土木事務所)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	あおき 青木 かつひろ 克裕
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	まつおか 松岡 ひろのり 宏典
3	東部地域局伊豆観光局長	ささの 笹野 つとむ 努
4	下田財務事務所長	たけだ 竹田 としき 敏己
5	賀茂健康福祉センター所長	わたなべ しん 渡辺 心（欠席）
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	じょうけ まこと 上家 信
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ば ふ じ お 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	まつやま はじめ 松山 創
10	下田土木事務所長	おおすみ やすし 大隅 泰史（欠席）
	下田土木事務所 次長	い なみ ともはる 井浪 知春
11	賀茂広域消費生活センター所長	まつひさ まゆみ 松久 真弓
12	賀茂出納室長	まつなが とし の 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	み むろ なおこ 三室 直子（欠席）
14	賀茂地域局次長兼地域課長	いいだ まさゆき 飯田 雅之
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	はかまだ こうじ 袴田 晃司

静岡県東部地区インバウンド施策

～三島駅インバウンド誘客検討会を契機として～

2026.7.24

静岡県東部地域局

(説明：伊豆観光局長 笹野)

三島駅インバウンド誘客検討会を契機とした東部地区
(伊豆半島含む)でのインバウンド施策について

次 第

- 1 静岡県及び三島駅の現状
* 伸び悩むインバウンド
- 2 三島駅インバウンド誘客検討会
* 課題と方策の検討と、様々な「気付き」
- 3 東部地域局（伊豆観光）の取組
* 「気付き」を施策に

本日の次第

（前段）

- 1点目...静岡県をめぐるインバウンドの全般的な状況
- 2点目...令和7年度開催の三島駅インバウンド誘客検討会における検討内容

（本題）

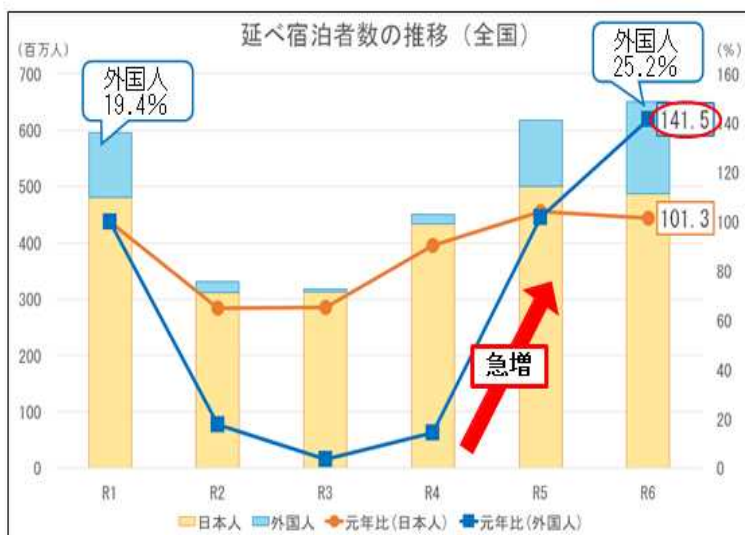
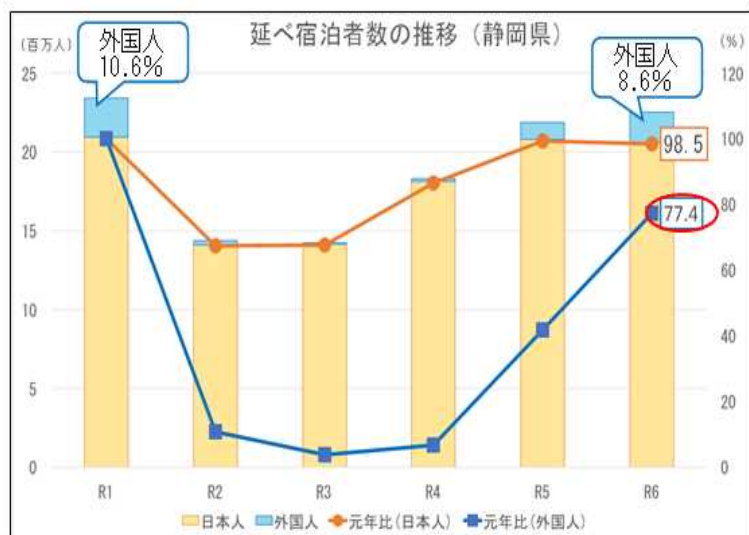
- 3点目...現在の東部地域局（伊豆観光）の取り組み

1 静岡県及び三島駅の現状（①県全体）

- ・令和6年本県全体の延べ宿泊者数に占める外国人割合は8.6%（全国：25.2%）
- ・令和6年の本県の外国人延べ宿泊者数は令和元年比で77.4%（全国：141.5%）

▶▶ 全国で外国人観光客が急増する一方、本県では伸び悩んでいる

*令和7年度三島駅インバウンド誘客検討会資料より



出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

本県のインバウンドをめぐる状況について

・観光庁統計（宿泊旅行統計調査）で見た場合の全国と本県の比較

・全国に比べ、本県のインバウンド誘客は伸び悩みと推察される

* 令和7年度の「三島駅インバウンド誘客検討会」資料より

1 静岡県及び三島駅の現状（②三島駅-1）

特長

- ・訪日外国人観光客に人気の高い東京、京都、箱根、河口湖等と各種の交通手段（新幹線、在来線、バスなど）で直結
- ・いわゆるゴールデンルート上に位置し、利便性が高い



三島駅の現状について(地理的環境)

- ・広域視点で見る、三島駅の特長
- ・東京から京都・大阪に至るゴールデンルート上に位置し
外国人に人気の河口湖、箱根ともバス路線が通り、利便性が高い

1 静岡県及び三島駅の現状（②三島駅-2）

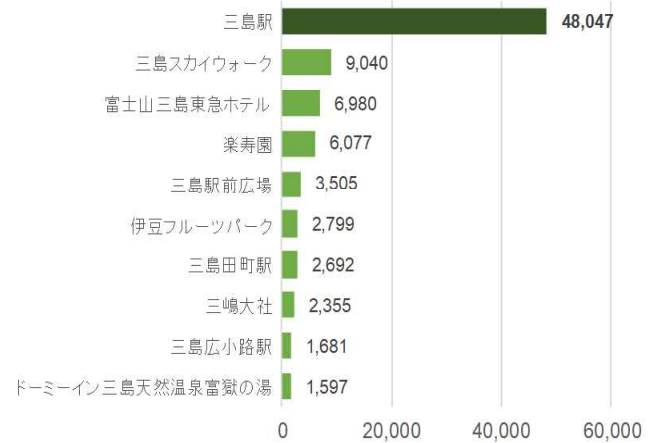
- ・三島駅には連日、非常に多くの外国人観光客が乗降する姿
- ・一方で乗換が多く、三島市内はじめ伊豆・富士方面への回遊が見られない



（上）三島駅南口

（左）大きな荷物を抱え
バスに乗り換える
インバウンド

スポット別来訪者数 上位10か所（2024年）



出典：静岡県データ分析プラットフォーム

「三島駅インバウンド誘客検討会」を設置し、課題整理と方策を検討

三島駅の現状について（三島駅から地域への回遊）

- ・交通利便性を背景に、連日多くの外国人観光客が乗降する姿
- ・ただし、多くは乗り換え利用が多く、県内への回遊が少ない
- ・三島駅で乗降するインバウンドの県内取り込みを目指し、検討会を設置

2 三島駅インバウンド誘客検討会（概要）

三島駅インバウンド誘客検討会

① 検討会の設置・開催

- ・静岡県伊豆観光局長を委員長に、観光・金融関係者9名で構成
- ・三島駅周辺での外国人聞き取りなど、「現場の生の声」を収集
- ・6/13-12/2まで全3回開催し、今後の方策を討議
- ・各種調査を実施。結果に基づき検討作業を推進

② 各種調査の実施

- ・観光庁「インバウンド宿泊者数」「旅行消費額」等のデータ分析
- ・観光、交通事業者等へのヒアリング調査…38社・団体
- ・県東部・伊豆半島地域20市町へのアンケート調査
- ・三島駅で乗降するインバウンドへのアンケート調査…629件

③ 検討結果（課題と方策）

- ・認知度や資源活用、回遊、受入環境など**7分野での分析**
- ・課題を**3点に整理・集約**、それぞれ**今後取るべき方策**を提示
- ・併せて、**3つの重要な戦略視点**の必要性を訴求



日本大学国際関係学部生によるインバウンドへのアンケート調査

三島駅インバウンド誘客検討会の概要

- ・委員9名からなる検討会を設置し、6月～12月まで3回の開催
- ・この間、統計分析、ヒアリング、生のインバウンドへの聞き取りなど、各種調査を実施
- ・検討作業の結果、課題整理(3点)し、それぞれの方策を提示

2 三島駅インバウンド誘客検討会（結果と対応）

◆検討会により整理した「課題」と「方策」（概略）

課題1：認知と流入

（概要）競合県と比べて認知度が低いため、
吸引力が弱く、県内に取り込めていない

（方策）認知を高めて、流入を促し、インバウンド人流を作る

課題2：資源活用と回遊

（概要）資源の活用等が不十分。二次交通も限定的で、各地域への
送客力が弱い

（方策）魅力あるコンテンツを創造・発信しつつ、域内各地への
送客を促進

課題3：滞在満足度の向上

（概要）施設や環境、人材など滞在の満足度に直結する取組が必要
（方策）移動(手段)を含め魅力的で快適な環境を作り、滞在満足度
向上を図る

◆対応

<県全体(県庁)>

- 予算事業への反映
…(参考)P13
- 体制の強化
…インバウンド
担当室長の新設

<東部地域局>

- ・フットワークを
生かした地元への
取組・働きかけ

検討会の結果（課題と方策）

（結果）

- ・認知と流入：認知が低いため吸引力が弱く、取り込めていない
- ・資源活用と回遊：有用な資源あるも一段の活用が必要、来訪者の交通・回遊促進も弱い
- ・滞在満足度の向上：施設等のハード、おもてなしを担う人材等に課題

（対応）

- ・いずれも簡単ではなく、時間も要するが、検討会では、スモールスタートでもよいので、早期に、できることから実施、で一致
- ・県庁では新年度予算への反映、体制強化を、現場に近い東部地域局ではフットワークを生かした地元への働きかけを推進

3 東部地域局（伊豆観光）の取組

- ・ 数字では全国に後れるも、「優れたモデル」は多い
⇒横展開や取組のヒントに
- ・ 近隣先進県とのギャップは大きい
⇒巻き返しには「意識」と「情報」の武装が必要
- ・ 観光業以外から寄せられた「応援」
⇒難しい「認知向上」に、地域の力を結集

検討会を通じた「気付き」をベースに取り組み

検討会後の東部地域局（伊豆観光）の取り組み

- ・ 検討会を通じた「気付き」をベースに、まずは3つの取り組みを開始
- ・ 一点目...「優れたモデル」の活用
- ・ 二点目...「意識」と「情報」の武装
- ・ 三点目...「認知向上」に地域の力を結集

3 東部地域局(伊豆観光)の取組…①事例集

「優れたモデル」 横展開、取組のヒントに

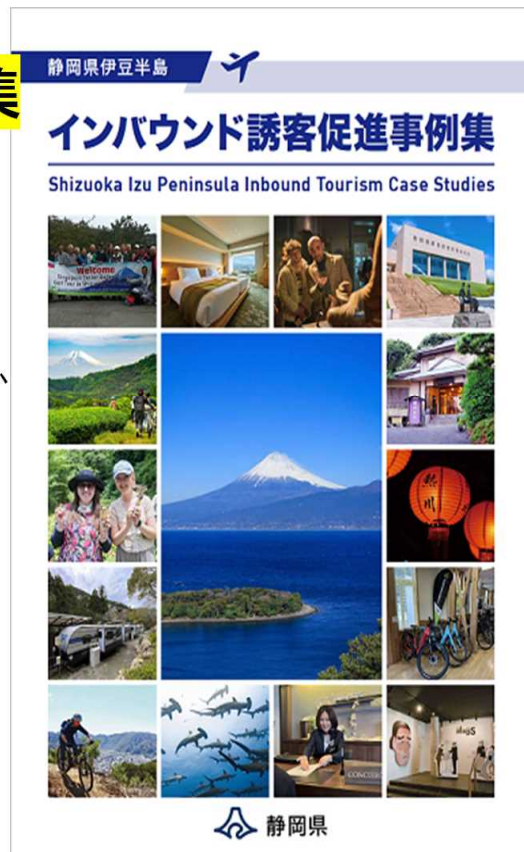
静岡県伊豆半島インバウンド誘客促進事例集

(趣旨)

- ・地域の資源を活用し、ユニークな工夫と熱意をもってインバウンド誘客及び受け入れ体制の強化に取り組む先進事例を紹介。伊豆半島の13市町全域で掘り起こし。
- ・取組の参考となる、伊豆半島在住の欧米系外国人からみた、外国人視点での伊豆半島の魅力や満足度向上につながるポイントを紹介。
- ・製作部数：300部（その後計600部増刷し配布中）
- ・配布先：観光関係事業者、各市町観光協会・観光部署、宿泊・交通事業者、金融機関等（約100箇所）

●内容

- ・三島駅インバウンド誘客検討会 実施概要と結果
- ・伊豆半島 インバウンド誘客先進事例紹介
- ・＜特別座談会＞外国人から見た伊豆半島の魅力



取組1 「優れたモデル」を参考に地域のインバウンド誘客を加速～「インバウンド事例集」

- ・伊豆半島の全市町にみられる先進事例をピックアップ
- ・ユニークな工夫、熱意を持った取り組みを地域の事業者の「学び」に
- ・在住外国人の視点(伊豆の魅力、誘客につながるポイント、等)も参考に

3. 東部地域局(伊豆観光)の取組…②インバウンド通信



Contents

- ◆ 事例紹介 ～伊豆市土肥「LOQUAT 西伊豆」～ P1
- ◆ 研究富裕層 ～「旅行スタイル」と「選ばれる地域」～ P2-3
- ◆ 北斎特別列車が「つなぐ地域の魅力」～三島駅から伊豆半島までの観光の起点～ P4
- ◆ Data Box ～直近の観光庁データより～ P4

事例紹介 ～伊豆市土肥「LOQUAT 西伊豆」～

最近、訪日外国人旅行者の旅行先は東京や京都などの都市部から地方へと広がりをみせています。中でも富裕層とよばれる旅行者は、その土地ならではの自然や文化に関心が高く、人々の暮らしに触れられる体験も好む傾向です。今回は、伊豆半島西海岸の静かな環境、豊かな自然などを活かす「LOQUAT 西伊豆」様にお話を伺いました。



LOQUAT 西伊豆 伊豆市

- ・伊豆市土肥に2021年に開業した古民家オーベルジュ。
- ・約300年の歴史を持つ土肥の名家を改修した施設で、歴史ある建築や地元食材を活かした料理、地域に寄り添ったサービスを提供。

◆大切にしているのは「その土地ならではの価値」

LOQUAT 西伊豆が追求しているのは、高級食材や豪華な設備などによる「高級さ」ではないようです。駿河湾の魚やワサビなど地元食材を使用した料理の提供や、数百年の歴史が息づく古民家に残されていた家具や建築をそのまま活かした空間づくりなど、「その地域ならではの価値」を提供しています。実際、宿泊客の中には東京や大阪などの主要な観光地ではなく、観光地化されていない「日本の田舎」を求めているという方も多くいます。豊かな自然や静かな環境を楽しむことを目的としているため、鉄道やバスなどアクセス面を気にすることなく、当地を訪れています。

◆一連の滞在を手厚くサポート

滞在全体をサポートするコンシェルジュサービスにも力を入れています。予約が入ると必ず宿泊客と連絡をとり、滞りまでの交通手段などの案内を事前に行います。滞在中も周辺の観光やアクティビティの紹介・予約代行のほか、ゲストからの要望にはきめ細かく応えられるよう、専属担当が宿泊客に寄り添い、丁寧に対応しています。

◆高い満足度と稼働率。今後の目標は…

インバウンド比率は現在、全体的に増加。欧米のほか、台湾、香港などのアジアが中心で、エージェンツとの連携も強化しています。客室数は3室ですが、客室稼働率は非常に高水準です。ただし、「西伊豆に行きたいから同施設を予約する」のではなく、「同施設に泊まりたいから西伊豆を訪れる」方が非常に多い点に、施設では危機感を感じています。自分たちの存在する地域が色褪せてしまえば、訪れる方々がその地域を味わうこともできなくなります。このため現在、施設への集客だけでなく、地域全体への誘客促進を重視しはじめました。近隣地区での場作り体験や地域住民との交流など新たな取り組みを提案し、好評を得たことなども、その意識を高める結果となりました。マネージャーの日井氏は、「試行錯誤しながら、西伊豆地域全体の魅力を向上させていきたい」と語ります。

格言・名言

Money can buy you a fine dog, but only love can make him wag his tail.
お金があれば良い犬を買うことができます。けれど、犬に尻尾を振らせることができるのは愛情だけです。
ケンノー・フリードマン

P1

「意識」と「情報」の武装

富士・伊豆インバウンド通信の発行

(趣旨)

地域関係者がインバウンド受入を進める上で重要な、インバウンドのトレンドや旅行者である外国人の視点等各種の情報を集約し、定期的に発行。

- ・発行頻度：隔月（偶数月の下旬発行）で発行
- ・ページ数：A4 4頁～
- ・配布先：観光関係事業者、各市町観光協会・観光部署、宿泊・交通事業者、金融機関等（約250箇所）

●これまでのトピック（抜粋）

- ・在住外国人に聞く「伊豆の魅力」
- ・事例紹介～伊豆市土肥「LOQUAT 西伊豆」～
- ・富裕層の「旅行スタイル」と「選ばれる地域」
- ・インバウンド専用列車「北斎特別列車」等

「生の声」
を重視

取組2 取組促進には「意識」と「情報」が重要～「富士・伊豆インバウンド通信」

・各種対策の前提として、地元事業者の誘客に向けた意識は不可欠

・同時に、インバウンドの「傾向」を知り、適切な「対策」を組むことが大切

・隔月での情報誌発行をスタート。編集では、「生の声」を重視

3 東部地域局(伊豆観光)の取組…③インバウンド誘客サポーター

「認知向上」に、地域の力を結集

富士・伊豆インバウンド誘客サポーター

(趣旨)

- ・観光が主たる事業ではないが、インバウンド誘客に影響力があると考えられる団体等をサポーターとして登録
- ・業務に付随した、富士・伊豆地域の魅力発信、観光案内等に協力いただく。サポーター名簿は東部地域局HPで公開する。

●サポーター一覧(R8.7.7時点)

- ・小野建設株式会社
- ・カメヤ食品株式会社
- ・一般社団法人サイクルスポーツセンター
- ・富士錦酒造株式会社
- ・一般社団法人富士・箱根・伊豆国際学会 (50音順)



写真：最初のサポーターとして左記5社を登録。登録通知を手渡し(会場：プラサヴェルデ)



取組3 地域の協力をもとに「認知の向上」への取組～「富士・伊豆インバウンド誘客サポーター」

- ・検討会開催中、開催後に、異業種の方々から協力の申し出
- ・伊豆地区を含め東部には、世界とつながる多くの企業、団体、人が存在
- ・協力を宣言していただく仕組みとして「サポーター」を立ち上げ
- ・難しい「認知の向上」に向け、今後も賛同者を増やしていく

インバウンド施策はスタート地点

今後も引き続き、効果的な事業を模索・展開

今後について

- ・当地区でのインバウンド誘客の新たな取り組みは始まったばかり
- ・課題は大きく、取り組みも手探り状態
- ・今後も引き続き、効果的な事業を模索し、誘客促進に向けた取り組みを展開する

(参考) 静岡県全体の主要インバウンド施策

◆具体的取組

◇「富士山」をコアバリューとした魅力の発信

- ・ゴルフツーリズム（有名ゴルフ場を核にした商品造成、プロモーション）
- ・ガストロノミーツーリズム（世界的に食の発信力が高い媒体との連携）
- ・モータースポーツツーリズム（レーサーとの同乗体験等の高付加価値商品の展開）

◇滞在環境の高付加価値化

- ・宿泊施設等のインバウンド向け高付加価値化改修への助成
- ・質の高い通訳ガイド「しずおか観光コンシェルジュ」の育成

◇ビジネスジェットを利用する富裕層誘客推進

- ・シームレスな旅行体験を提供するための空港の受入れ機能強化
- ・空港を起点としたモデル旅行商品の造成、海外富裕層エージェントの招聘

◇スーパーヨット誘致推進

- ・寄港地の市町と連携し、船会社や船舶代理店を招いたファムトリップ
- ・国内外の展示会に出展し、キーパーソン等に寄港地を直接PR

◇スタートアップの知見活用

- ・革新的なアイデアや技術を持つスタートアップ企業と県内DMOや自治体等をマッチングし、実証事業を実施



ゴルフツーリズム



ガストロノミーツーリズム



モータースポーツ



ビジネスジェット



スーパーヨット

(参考) 県全体の主要インバウンド施策

- ・東部を含めた県全体で、施策を構築中
- ・県庁、東部地域局、地域の観光協会・事業者の方々と連携し、取り組みを進める
- ・新たな動きが出次第、リリースを実施

行事予定表（令和8年8月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	土					
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					高校生による建設現場見学 10:30～ 南伊豆町内ほか
6	木					
7	金					
8	土					
9	日					
10	月					
11	火					
12	水					
13	木					道路ふれあい月間イベント 10:00～ 道の駅開国下田みなど
14	金					
15	土					
16	日					
17	月					
18	火					
19	水	地域の魅力発掘プロジェクト 9:30-15:30 下田市民文化会館				那賀川水系流域委員会 14:00～ 松崎町役場
20	木					
21	金	1 DAYインターンシップin賀茂 11:20-16:05 賀茂キャンパス			GAPに関する研修会 13:30～ 総合庁舎第3会議室	
22	土					
23	日					
24	月			東伊豆町減塩キャンペーン 10:00～		
25	火	①定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス ②防災講座（松崎幼稚園） 9:30-11:00 松崎幼稚園				
26	水					
27	木	防災講座（伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校） 13:00-14:00 伊豆松崎分校				
28	金	①防災講座（朝日小学校） 13:25-14:10 朝日小学校 ②防災講座（南伊豆認定こども園） 16:30-18:00 南伊豆認定こども園				
29	土					
30	日	伊豆サテライトミュージアム 10:00-12:30 爪木崎自然公園無料駐車場 14:00-16:00 賀茂キャンパス				
31	月	静岡大学東部サテライト「伊豆歴史文化大学」講座 18:00-20:00 賀茂キャンパス				

行事予定表（令和8年8月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	土					
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					
6	木					
7	金		県民の日イベント 13:00～15:30「伊豆の漁業 模擬体験」事前募集・親子 6組 15:30～20:00「展示室公 開・タッチプール」申込不 要			
8	土					
9	日					
10	月					
11	火					
12	水					
13	木					
14	金					
15	土					
16	日					
17	月					
18	火					
19	水					
20	木					
21	金					
22	土					
23	日					
24	月					
25	火					
26	水					
27	木					
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					

< 賀茂キャンパス活用プログラム >

令和8年度 地域の魅力発掘プロジェクト～下田市編～

(賀茂地域局)

1 要旨

賀茂地域の高校生が大学生と一緒に、講義やフィールドワークを行うことを通じて、地域の魅力を再発見し、地域に対する愛着や誇りを高めること及び進路形成意識を醸成すること等を目的とした「地域の魅力発掘プロジェクト」を実施する。

下田市内の地域資源（自然・歴史・地域産業・生活文化等）を整理し、今後の地域活性化に向けた具体的なアイデアにつなげる。

2 実施内容

日 時	令和8年8月19日（水） 9：30～15：30
場 所	下田市内（集合場所：下田市民文化会館）（下田市4丁目1 - 2）
内 容	・オリエンテーション ・フィールドワーク（地域の方などとの交流・意見交換） ・グループワーク、発表・考察、講評
参加者	賀茂地域の高校生（現在募集中） 7月21日時点で12名（下田高等学校、稲取高等学校） 静岡県立大学生8名
共 催	賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡県立大学、賀茂地域局ほか） 下田市、賀茂地域探究コンソーシアム（静岡県立下田高等学校・下田高等学校南伊豆分校・稲取高等学校・松崎高等学校）

3 当日の行程

時間	内容	会場
9:30～10:00	オリエンテーション	下田市民文化会館
10:00～14:00	フィールドワーク	下田市内
14:00～15:00	グループワーク	下田市民文化会館
15:00～15:30	発表・考察、講評	

担 当：地域課 菅尾

連絡先：0558-24-2202

！歩いて、見つけて、伝えよう！！

賀茂キャンパス活用プログラム

地域の魅力 発掘プロジェクト

～下田市編～

高校生と大学生の協働探求学習

私たちのまち下田の“らしさ”ってなんだろう？
高校生と大学生がチームを組んで、
まちを歩き、見つけ、考え、発信する1日！
知らなかった下田の隠れた魅力に、
きっと出会える。

日時

8/19 水
9:30～15:30

参加無料

集合場所

下田市民文化会館 大会議室

送迎あり(要相談)



プログラム



9:30～10:00

オリエンテーション

目的や流れを確認して、チームで自己紹介！



10:00～14:00

グループで市内を歩き回り、
下田らしさをさがしてみる！

まちの人に話を聞いたり、写真を撮ったり、
気になるモノ・コトをたくさん見つけよう！

戻ってきたら紙にまとめて発表の準備をする



14:00～15:30

まとめ・全体発表、考察

各グループの発表を発表し合い、
下田の隠れた魅力についてみんなで考えよう！

みんなの視点で
下田の隠れた魅力を見つこう！



こんな体験が
待ってる！



いろんな人と話して
視野が広がる！



まちを歩いて
新しい発見！



アイデアを出し合い
未来につなげる！

協働
(共催)

問い合わせ

持ち物

賀茂キャンパス活用推進委員会(静岡県賀茂地域局・静岡県立大学ほか)、
下田市、賀茂地域探究コンソーシアム
(静岡県立下田高校・下田高校南伊豆分校・稲取高校・松崎高校)

静岡県賀茂地域局地域課 TEL: 0558-24-2202

飲み物、帽子、筆記用具、カメラ(スマホ可)、制服での参加になります
※雨天の場合は内容を一部変更する場合があります。

※参加を希望する生徒は
担当に申し出てください。



令和8年7月24日

記者懇談会資料

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡大学東部サテライト「伊豆歴史文化大学」講座
『伊豆の大地とアート』オンライン視聴会

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡大学が主催する「伊豆歴史文化大学」講座が「伊豆の大地とアート」をテーマに行われます。同大学の協力により、8月31日(月)にオンライン視聴会を開催します。

(概要)

日 時	令和8年8月31日(月) 18:00～20:00 (途中入退出可能)
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。
内 容	演題・講師 ○「絵画・写真に残る伊豆の大地」 小山 真人(静岡大学防災総合センター) ○「近世絵画に描かれた伊豆の風景」 片岡勲人(東海大学観光学部) ○「近代絵画・写真に描かれた伊豆の風景」 松本由奈(伊豆市教育委員会) ※講演会場(静岡大学東部サテライト)とオンラインで結び、大型スクリーンにより視聴する。
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	二次元コード：  電 話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
共 催	静岡大学未来社会デザイン機構東部サテライト 賀茂キャンパス活用推進委員会(静岡大学、静岡県賀茂地域局ほか)

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

伊豆歴史文化大学 オンライン視聴会



静岡大学東部サテライト（伊豆市）で実施する講座を
賀茂キャンパスの大型スクリーンでオンライン（Zoom）視聴します。



伊豆半島とその周辺は、さまざまな自然災害が頻発する一方で、自然現象がもたらした地形・景観・産物が、そこに暮らす人々に大きな恵みを与えてきました。本講座は、伊豆半島の自然の恵みと災害の歴史を振り返るとともに、それらが地域の社会基盤や文化形成に与えた影響を最新の研究成果にもとづいて、伊豆独自の自然・歴史・文化の価値の再認識を試みます。

テーマ：伊豆の大地とアート

テーマ・講師

▶「絵画・写真に残る伊豆の大地」

小山 真人（静岡大学防災総合センター）

▶「近世絵画に描かれた伊豆の風景」

片岡 勲人（東海大学観光学部）

▶「近代絵画・写真に描かれた伊豆の風景」

松本 由奈（伊豆市教育委員会）

申込方法

参加を希望される方は、二次元コード・電話・メールいずれかの方法で
申し込みください

申し込みフォーム

☎0558-24-2202

✉kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp



日時

2026.8.31月
18:00～20:00

場所

賀茂キャンパス
（下田総合庁舎別館2階）
下田市中531-1

参加費

無料

問い合わせ先

静岡県賀茂地域局地域課
☎0558-24-2202

定例記者懇談会資料

静岡県庁1DAYインターンシップ in 賀茂 開催します！

(賀茂地域局)

1 目的

賀茂地域で働く静岡県職員の仕事内容及び、生活を伝えることで本庁職以外の職場の魅力を知ってもらうため、大学生を対象に下田総合庁舎にて1DAYインターンシップを開催します。

2 概要

- (1) 対象人数 最小参加希望人数6名、最大10名
- (2) 日 時 令和8年8月21日(金)※応募締切り令和8年7月31日(金)
- (3) 場 所 下田総合庁舎2階第8会議室(賀茂キャンパス)

3 実施内容・スケジュール

時間	内 容
11:20 ~ 12:00	職員の仕事の説明
12:00 ~ 13:00	昼休憩
13:00 ~ 13:40	職場見学(各所属職員が説明)
13:40 ~ 14:35	グループワーク(意見交換)
14:35 ~ 15:15	県職員とのフリートーク
15:15 ~ 16:05	下田市内町歩き

4 その他

- ・取材を希望される場合は、下記担当まで御連絡ください。

担 当：地域課 末松

連絡先：0558-24-2202

賀茂地域の未来を一緒に考えませんか？

静岡県庁

1 DAY

インターンシップ

in
賀茂

賀茂地域で働く静岡県職員との交流を通じて、地域特有の社会課題や県の取組への理解を深めるとともに出先機関での仕事を体験することができる1 DAYインターンシップです。

8.21 金 11:20-16:05

下田総合庁舎2階 第8会議室
〔賀茂キャンパス〕

対象者

静岡県職員の仕事に関心のある学生、県職員の本庁以外での働き方も知りたい学生

応募締切

7/31(金)まで

定員

10名(最小催行人数6名)

参考

【参加する職員の所属】賀茂地域局／
下田財務事務所／賀茂健康福祉センター／
賀茂農林事務所／下田土木事務所

静岡県庁は
本庁だけ
じゃない！



お申し込みは
こちらから▶



令和8年度実施内容・スケジュール

時間	内容
11:20 - 12:00	職員の仕事の説明
12:00 - 13:00	昼休憩（昼食持参）
13:00 - 13:40	職場見学
13:40 - 14:35	事業説明・グループワーク
14:35 - 15:15	県職員とのフリートーク
15:15 - 16:05	下田市内町歩き

※下田駅にて送迎有り 迎▶11:10駅着 送▶16:20駅着

お問合せ先

静岡県総務部人事課

☎054-221-2016

✉internship@pref.shizuoka.lg.jp

ふじミュー 伊豆サテライトミュージアム2026～第2弾は『魚』です！～

(ふじのくに地球環境史ミュージアム・賀茂地域局)

ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市駿河区）は、2016年に開館した全国初の地球環境史をテーマとした県立の自然系博物館です。

普段、当館に来館することができない方にも当館のイベントを楽しんでもらえるよう、令和7年度から下田市で出張展示やイベントを行っています。

今年度も地域の自然・環境について理解を深めるためのイベントや講座を実施します。

第2弾では、当館の研究員が講師を務める、魚をテーマにしたイベントを行います。

※参加者募集の周知及び当日の取材をよろしくお願いいたします。

1 午前の部

イベント名	魚の調査隊 in 下田
内 容	ふじミューの魚博士と一緒に投網などの道具を使って下田の海を調査します。 講師：ふじのくに地球環境史ミュージアム研究員 渋川浩一
開催日時	令和8年8月30日（日） 10：00～12：30
集合場所	爪木崎自然公園無料駐車場（下田市須崎 1243）
参加費	無料
定 員	先着 15 名（小学生以上）
申込方法	電子申請システムでお申し込みください。 申込期間：令和8年7月26日（日）から8月23日（日） ※定員に達し次第、締切ります。



2 午後の部

イベント名	魚の標本をつくろう！
内 容	午前中に採集した魚を標本にします。 講師：ふじのくに地球環境史ミュージアム研究員 渋川浩一
開催日時	令和8年8月30日（日） 14：00～16：00
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス（下田市中 531-1）
参加費	無料
定 員	先着 15 名（小学5年生以上）
申込方法	電子申請システムでお申し込みください。 申込期間：令和8年7月26日（日）から8月23日（日） ※定員に達し次第、締切ります。



3 問合せ先

ふじのくに地球環境史ミュージアム企画総務課

住 所 静岡市駿河区大谷5762

電話番号 054-260-7111



ふじのくに
地球環境史
ミュージアム
Museum of Natural and
Environmental History, Shizuoka



2026

第2弾



伊豆サテライトミュージアム

テーマ: 魚

**参加費
無料**

ふじのくに地球環境史ミュージアムが
下田市内でサテライトミュージアムを展開します。
第2弾のテーマは魚！
魚博士と一緒に下田の海にくらす魚たちを
見て触って学びませんか？



講師 **渋川 浩一**
(ミュージアム研究員、魚博士)

イベント 魚の調査隊 in 下田 (雨天中止)

先着15名
(要予約)

下田の海にはどんな魚がくらしているのかな？ふじミューの魚博士と一緒に
投網などの道具を使って海の中を調査しよう！
※海岸でのイベントのため、濡れてもよい服でお越しください。



集合
場所

爪木崎自然公園無料駐車場

※イベント開催日は駐車料金がかかります

住所：下田市須崎 1243

日時

8/30日 10:00～12:30

参加
方法

右の二次元コードから
ご予約ください



対象

小学生以上

イベント 魚の標本をつくろう！

先着15名
(要予約)

ふじミューの魚博士と一緒に魚の標本づくりに挑戦しよう！
午前のイベントで採集した魚を標本にします。
※午後のイベントのみの参加も可能です。



場所

賀茂キャンパス (静岡県下田総合庁舎別館2階)

住所：下田市中 531-1

日時

8/30日 14:00～16:00

参加
方法

右の二次元コードから
ご予約ください



対象

小学5年生以上

申込
期間

7/26日～8/23日

※定員に達し次第、締切ります

主催



ふじのくに地球環境史ミュージアム
Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka

☎ 054-260-7111 ✉ info@fujimu100.jp

共催

下田市教育委員会、静岡県賀茂地域局



伊豆サテライト
ミュージアムの
詳細はこちら



第4弾 賀茂地域広報PRグッズ、付箋を作りました！

(賀茂地域局)

1 概要

移住定住の促進及び地域住民や子どもたちの郷土愛醸成を目的とし、賀茂地域を魅力的に静岡県内外に紹介する広報PRグッズの第4弾として、付箋を制作した。

2 活用方法

- ・県内外での移住フェアやイベントで配布することで、「賀茂地域」の知名度向上、移住者及び関係人口の増加につなげる。
- ・地域イベント等で住民や子どもたちに配布することで、地域の魅力を再発見する機会を創出し、郷土愛醸成を図る。
- ・SNS及び防災アプリの二次元コードを掲載することで、SNSでの賀茂地域の魅力発信と防災啓発を一体的に進める。

3 制作グッズ

第4弾 付箋 (デザイン)

中



表



裏



4 デザイン

- ・Uターンして民宿勝五郎（下田市白浜）を営む傍らイラストレーターとしても活躍している土屋尊司氏が制作

<参考>

第1弾トートバック（右：土屋尊司氏）

第2弾ファイルバッグ（左）



第3弾ステッカー



担当：地域課 菅尾
連絡先：0558-24-2202

定例記者懇談会資料

8月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催します。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	8月25日(火) 9:30～11:00	松崎幼稚園 (松崎町)	職員 約10人	災害図上訓練(DIG)
②	8月27日(木) 13:00～14:00	伊豆の国 特別支援学校 伊豆松崎分校 (松崎町)	松崎分校 松崎高校 職員約40人	災害図上訓練(DIG)
③	8月28日(金) 13:25～14:10	朝日小学校 (下田市)	5年生 約11名	しぞ～か防災かるた (豪雨の備え編)
④	8月28日(金) 16:30～18:00	南伊豆認定 こども園 (南伊豆町)	職員 約20人	災害時判断ゲーム

(講座内容の紹介)

～「しぞ～か防災かるた 豪雨の備え編」とは～

しぞ～か防災かるた委員会と、県の交通基盤部河川砂防局土木防災課が2025年に作成したものです。作成には、賀茂地域から東伊豆町、静岡県稲取高校が参加しました。

「流域治水」の考えのもと、水災害に対する備えを楽しみながら学び、さらに深く学ぶためのきっかけをつくります。
※流域治水……住民や企業、行政などの流域に関わる全ての人が水災害対策を行うという考え方。



(お願い)

- ・取材を行う場合は、各学校まで取材を行う旨を事前にご連絡ください。
- ・講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 山田
連絡先：0558-24-2004

水難事故防止キャンペーンの実施について

(賀茂地域局)

1 目 的

県内の水難事故発生状況は発生件数及び事故者数ともに昨年同期間より増えており、県内全域に「水難事故注意報」が発令（7月31日（金）まで）されている。

例年夏季に水難事故が増加する傾向にあることを踏まえ、水難事故防止キャンペーンを実施する。

2 日時・場所

令和8年7月30日（木）13：30～14：30

予備日：令和8年8月3日（月）、8月6日（木）同時刻

開催場所：南伊豆町湊 弓ヶ浜

駐車・集合場所：弓ヶ浜臨時派出所駐車場（南伊豆町湊）

3 参加予定機関

静岡県、下田海上保安部、下田警察署、下田消防本部、南伊豆町

参加人数 調整中

4 実施方法

のぼり旗を手に持ち、啓発用グッズのうちわやポケットティッシュ等を配布する。

5 水難事故の発生状況（参考）

令和7年 静岡県内の水難事故の発生状況（1/1～7/12）

発生件数	事故者数				
	総数	死亡	負傷	救出	不明
17(3)	20(3)	9(3)	3(0)	7(0)	1(0)

令和8年 静岡県内の水難事故の発生状況（1/1～7/12）

発生件数	事故者数				
	総数	死亡	負傷	救出	不明
24(7)	25(7)	8(3)	8(2)	8(2)	1(0)

※（ ）内の数字は、賀茂地域の水難事故発生件数（人数）

6 その他

荒天によりキャンペーンを中止する場合、各報道機関宛てメールによりその旨周知する。

担 当：危機管理課 安岡

連絡先：0558-24-2004

令和8年7月24日

定例記者懇談会資料

令和8年度牛乳・乳製品料理講習会の開催

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

牛乳・乳製品はカルシウムを多く含み、丈夫な歯や骨を維持するために継続的に摂取したい食品です。

そこで、地域の食のボランティアである健康づくり食生活推進員を対象に、牛乳・乳製品を利用した調理実習や講話を行い、牛乳・乳製品の知識の普及を図ります。

また、当講習会を交流の場とし、活動の活性化を進めていきます。

(概要)

日 時	令和8年7月28日(火) 10:00～13:30 (受付開始: 9:45)
会 場	南伊豆町健康福祉センター (南伊豆町加納 790)
対 象	健康づくり食生活推進員 (下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町)、市町担当者
内 容	(1) 講話: 「生涯の健康を支える乳たんぱく質」 講師: 森永乳業株式会社 (2) 調理実習 ・ミルク親子丼 ・クリームチーズの梅肉ソース和え ・みかんミルク餅 (3) 交流会
主 催	賀茂健康福祉センター、健康づくり食生活推進協議会賀茂連絡会

(その他)

取材いただける場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。

担 当: 健康増進課 宇津木
連絡先: 0558-24-2037

定例記者懇談会資料

GAP に関する研修会の開催

(賀茂農林事務所)

1 目 的

GAP の取組は環境保全、食品安全や労働安全による農業者のリスクを軽減し、持続的な農業経営に繋がります。この取組をさらに推進するため、生産現場の農業者等を対象とした研修会を開催します。

2 概 要

日 時	令和8年8月21日（金）13：30～16：30
場 所	下田総合庁舎2階 第3会議室
内 容	（1）講師：JGAP 上級審査員 藤井淳生 氏 （2）テーマ：「GAP について」 ・国際水準 GAP （食品安全・環境保全・労働安全・人権保護・経営管理） ・農場におけるリスク評価 ・しずおか農林水産物 GAP 認証制度 ほか
参加者	農業者、農業協同組合、市町ほか
主 催	静岡県賀茂農林事務所
その他	＜GAP とは＞ GAP とは、「Good（良い）Agricultural（農業の）Practice（やり方）」の略語であり、食品安全、環境保全、労働安全などについて、農業生産の各工程の実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。 ＜しずおか農林水産物 GAP 認証制度の取得推進について＞ 静岡県では、独自の GAP 認証「しずおか農林水産物 GAP 認証」制度（通称：しずおか GAP）を制定し、生産者の GAP に関する理解の向上を図るとともに、JGAP や GLOBALG. A. P. 等の国内外で広く標準化された GAP 認証へのステップアップの手段として、県版 GAP の認証取得を推進している。

担 当：地域振興課 小笠原

連絡先：0558-24-2079



下田高校南伊豆分校の生徒が建設現場を見学します！



(下田土木事務所)

1 要旨

建設業界が抱える深刻な人手不足を背景に、静岡県では若年層の関心を高める取組として、「静岡どぼくらぶ講座」を開催しています。

このたび、地域の将来を担う高校生を対象に、関係機関と協力し建設現場見学会を開催します。実際の工事現場や港湾施設を訪れ、現場で働く技術者の話を直接聞くことで、建設業の実態や魅力を具体的に理解するとともに、キャリア形成の参考にしてもらうことを目的としています。

2 内容

日 時	令和8年8月5日（水） 10:30～13:45（休憩 11:15～13:00）
参加者	下田高校南伊豆分校 生徒4～9名 } 教員 計5名 田方農業高校 生徒3名
内 容	①10:30～11:15 見学先：前田川支川湊北沢砂防工事 内 容：土石流や崩壊土砂から下流の民家等を守るための施設を施工中。山からの水が流れ下る流路をつくる様子を見学。 場 所：南伊豆町湊 ②13:00～13:45 見学先：令和7年度 下田港防波堤（西）D区本体工事 内 容：下田を守る海の玄関口を工事中。防波堤のケーソン※を見学。 場 所：下田市須崎 ※ケーソン：防波堤や岸壁の土台となる、鉄筋コンクリート製の巨大な「箱」のこと。
担当機関	①静岡県下田土木事務所 ②国土交通省清水港湾事務所
その他	取材を希望される場合は、8月3日（月）を目途に担当まで御連絡ください。

(参考)「静岡どぼくらぶ講座」について

県内小中学校及び高等学校等の生徒に、建設産業の魅力を発信し、若年者の入職を促進するため、平成29年度から「静岡どぼくらぶ講座」として関係機関と連携して建設現場体感見学会や出前講座を実施しています。

担 当：企画検査課 富田

連絡先：0558-24-2113



【道路パト車に乗ってみよう】道路ふれあい月間イベントの実施



(下田土木事務所)

1 要旨

8月1日～31日は「道路ふれあい月間」です。道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識してもらうため、下田土木事務所は下田市、下田警察署、交通安全協会と協力して、下記のとおり啓発イベントを実施します。

2 日時

令和8年8月13日（木）10：00～12：00

3 場所

道の駅開国下田みなと 東側港湾スペース

4 内容

- ① 道路パトロール車・パトカー・白バイの展示・試乗体験
- ② ふじっぴーとの記念撮影
- ③ 交通安全活動・広報
- ④ パネル展示、塗り絵体験
- ⑤ 啓発グッズ配布（ウェットティッシュ、静岡どぼカード、重機消しゴム等）

5 その他

以下の場合にはイベント中止とします。なお、中止の判断は前日又は当日朝に行います。

- ・雨天時
- ・「波浪注意報・警報」「高潮注意報・警報」「南海トラフ地震臨時情報」発表時
- ・その他中止すべき状況が生じている場合（地震・津波・高温 等）



昨年度開催の様子



担 当：維持管理課 田中
連絡先：0558-24-2117



第5回那賀川水系流域委員会を開催します



(下田土木事務所)

(要旨)

松崎町的那賀川水系において、河川法に基づく河川整備計画を策定するため、学識経験者や地域の方々から幅広く意見を伺う場として、第5回流域委員会を開催します。

これまでの検討及び本年3月に実施した県民意見募集（パブコメ）を踏まえ、河川整備計画の修正原案を諮ります。

(概要)

- 1 日 時 令和8年8月19日（水）14：00～15：30
- 2 場 所 松崎町環境改善センター2F 研修室
(〒410-3696 松崎町宮内 301-1)
- 3 内 容 ・河川整備の目標（利水、環境・地域との関わり）について
・河川整備計画（修正原案）について
- 4 委員構成

氏名（敬称略）	所属・役職
田中 博通	東海大学 名誉教授
高井 則之	日本大学 生物資源科学部 教授
池野 文隆	賀茂農林事務所 技監兼農村計画課長
山本 一詞	那賀川非出資漁業協同組合 組合長
山本 公	松崎町文化財保護審議会 会長
土屋 宗三郎	松崎消防団 団長
関 真行	松崎地区 区長代表
船津 光信	中川地区 区長代表
高橋 工	岩科・三浦地区 区長代表
鈴木 八十志	松崎町観光協会 会長
深澤 準弥	松崎町長

5 その他

取材を希望される場合は、開始時刻までに実施場所へお越しください。

担 当：企画検査課 企画班
連絡先：0558-24-2113

- ※ 河川整備計画とは、河川法第16条の2の規定に基づき、河川管理者が河川整備基本方針に沿って、災害の発生を防止又は軽減するために必要な措置を講じ、総合的な河川管理を行うため、今後概ね20年から30年の間に行う当該河川の整備に関する河川工事・河川維持等を定めるものです。

